



学校改善プラン

令和6年度後期～令和7年度前期

千歳市立東千歳中学校

生徒の実態・課題・目標・改善方策・評価方法

全国学力・学習状況調査		NRT標準学力検査・ほっかいどうチャレンジテスト		学校中間評価・学習アンケート																																																									
[実態]	<p>平均正答率</p> <p>R5(国語)全国 69.8 本校 83(全国比+13.2) R6(国語)全国 58.1 本校 76(全国比+17.9)</p> <p>R5(数学)全国 51.0 本校 67(全国比+16) R6(数学)全国 52.5 本校 81(全国比+28.5)</p>	[実態]	<table border="1"> <tr><th colspan="4">国語</th></tr> <tr><th colspan="2">現2年生</th><th colspan="2">現1年生</th></tr> <tr><th>偏差値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R6</th></tr> <tr><td>平均</td><td>51.0</td><td>51.3</td><td>44.0</td></tr> <tr><td colspan="4">▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向</td></tr> <tr><td>現1年生</td><td>全国比 7.2</td><td>※「書く」</td><td></td></tr> <tr><td>現2年生</td><td>全国比 9.6</td><td>※「話・聞」</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">社会</th></tr> <tr><th colspan="2">現2年生</th><th colspan="2">現1年生</th></tr> <tr><th>偏差値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R6</th></tr> <tr><td>平均</td><td>44.6</td><td>60.0</td><td>48.0</td></tr> <tr><td colspan="4">▲1年「地理的分野」において、全国に比べ低い傾向</td></tr> <tr><td>現1年生</td><td>全国比 8.4</td><td>地理分野</td><td></td></tr> <tr><td>現2年生</td><td>全国比 全て130以上</td><td></td><td></td></tr> </table>	国語				現2年生		現1年生		偏差値	R5	R6	R6	平均	51.0	51.3	44.0	▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向				現1年生	全国比 7.2	※「書く」		現2年生	全国比 9.6	※「話・聞」		社会				現2年生		現1年生		偏差値	R5	R6	R6	平均	44.6	60.0	48.0	▲1年「地理的分野」において、全国に比べ低い傾向				現1年生	全国比 8.4	地理分野		現2年生	全国比 全て130以上			[実態]	<p>保護者 (平均値最大4)</p> <p>◎インターネットやスマホの使い方について約束している (平均値 3.7)</p> <p>▲家庭学習の習慣化がされている (平均値 3.1)</p> <p>▲自分には良いところがある (平均値 3.2)</p> <p>▲子どもと将来の夢や希望の話をする (平均値 3.2)</p> <p>生徒</p> <p>◎学校は楽しい (平均値 3.7)</p> <p>◎学校の勉強は分かる (平均値 3.8)</p> <p>▲授業では課題の解決方法を工夫して、粘り強く取り組んだ (平均値 3.3)</p> <p>▲自分には良いところがある (平均値 2.9)</p> <p>教職員</p> <p>◎重点目標の達成に向けて具現化を図り、教育活動を進めている (平均値 4.0)</p> <p>◎生徒の資質・能力を確実に育成するため、授業の中で「対話」を柱とした「思考力・判断力・表現力」の育成に努めている (平均値 3.7)</p> <p>◎ICTを積極的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っている (平均値 3.5)</p> <p>▲単元指導計画に「自己表現」する場面に適切に位置づけ、繰り返し行った (平均値 2.6)</p> <p>▲考え議論する道徳を実践している (平均値 3.0)</p> <p>▲生徒自ら課題を見つけ、自ら努力し、自ら解決できる力の育成を考えた支援を行い、自己決定の機会を意図的に設けている (平均値 3.0)</p> <p>学習アンケート</p> <p>◎各教科の授業は大切だと思う (平均値 3.7)</p> <p>▲家庭での学習において、自分で計画を立てて勉強をしている (平均値 2.7)</p> <p>▲1日のうち、1年生は80分、2年生は90分、3年生は100分以上勉強する (平均値 2.7)</p> <p>▲思考ツールを使うことで、自分の考えを整理したりまとめたりすることができた (平均値 2.9)</p>
国語																																																													
現2年生		現1年生																																																											
偏差値	R5	R6	R6																																																										
平均	51.0	51.3	44.0																																																										
▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向																																																													
現1年生	全国比 7.2	※「書く」																																																											
現2年生	全国比 9.6	※「話・聞」																																																											
社会																																																													
現2年生		現1年生																																																											
偏差値	R5	R6	R6																																																										
平均	44.6	60.0	48.0																																																										
▲1年「地理的分野」において、全国に比べ低い傾向																																																													
現1年生	全国比 8.4	地理分野																																																											
現2年生	全国比 全て130以上																																																												
[課題]	<p>国語</p> <p><分析>「思考・判断・表現」に関する問題に落ち込みが見られる。根拠をもとに、自分の考えをまとめ、表現できる力の育成が急務である。「読解力と記述力」の向上を図るため、授業では多くの文章に触れ、要約文を書く練習や「対話」を柱とした授業の構築を図る。また、言語文化に関する事項中間層はAIドリル等を活用して既習事項の復習も行っていく。</p>	[課題]	<table border="1"> <tr><th colspan="4">数学</th></tr> <tr><th colspan="2">現2年生</th><th colspan="2">現1年生</th></tr> <tr><th>偏差値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R6</th></tr> <tr><td>平均</td><td>47.6</td><td>50.5</td><td>40.4</td></tr> <tr><td colspan="4">▲「数と式」において、全国に比べ低い傾向</td></tr> <tr><td>現1年生</td><td>全国比 5.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現2年生</td><td>全国比 7.9</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">理科</th></tr> <tr><th colspan="2">現2年生</th><th colspan="2">現1年生</th></tr> <tr><th>偏差値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R6</th></tr> <tr><td>平均</td><td>48.6</td><td>53.0</td><td>50.8</td></tr> <tr><td colspan="4">▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向</td></tr> <tr><td>現1年生</td><td>全国比 9.7</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現2年生</td><td>全国比 全て100以上</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>第2回ほっかいどうチャレンジテスト</p> <p>(伸びしろ層の割合)</p> <p>中1国…33% 中1数…50%</p> <p>中1社…16% 中1理…16%</p> <p>中2社…25% 中2数…40%</p> <p>中2英…25% 中3国…33%</p> <p>中1英、中2国、中2理、中3社、数、理、英はなし</p>	数学				現2年生		現1年生		偏差値	R5	R6	R6	平均	47.6	50.5	40.4	▲「数と式」において、全国に比べ低い傾向				現1年生	全国比 5.5			現2年生	全国比 7.9			理科				現2年生		現1年生		偏差値	R5	R6	R6	平均	48.6	53.0	50.8	▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向				現1年生	全国比 9.7			現2年生	全国比 全て100以上			[課題] <p>◎重点目標の達成に向けて具現化を図り、教育活動を進めている (平均値 4.0)</p> <p>◎生徒の資質・能力を確実に育成するため、授業の中で「対話」を柱とした「思考力・判断力・表現力」の育成に努めている (平均値 3.7)</p> <p>◎ICTを積極的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っている (平均値 3.5)</p> <p>▲単元指導計画に「自己表現」する場面に適切に位置づけ、繰り返し行った (平均値 2.6)</p> <p>▲考え議論する道徳を実践している (平均値 3.0)</p> <p>▲生徒自ら課題を見つけ、自ら努力し、自ら解決できる力の育成を考えた支援を行い、自己決定の機会を意図的に設けている (平均値 3.0)</p> <p>学習アンケート</p> <p>◎各教科の授業は大切だと思う (平均値 3.7)</p> <p>▲家庭での学習において、自分で計画を立てて勉強をしている (平均値 2.7)</p> <p>▲1日のうち、1年生は80分、2年生は90分、3年生は100分以上勉強する (平均値 2.7)</p> <p>▲思考ツールを使うことで、自分の考えを整理したりまとめたりすることができた (平均値 2.9)</p>	
数学																																																													
現2年生		現1年生																																																											
偏差値	R5	R6	R6																																																										
平均	47.6	50.5	40.4																																																										
▲「数と式」において、全国に比べ低い傾向																																																													
現1年生	全国比 5.5																																																												
現2年生	全国比 7.9																																																												
理科																																																													
現2年生		現1年生																																																											
偏差値	R5	R6	R6																																																										
平均	48.6	53.0	50.8																																																										
▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向																																																													
現1年生	全国比 9.7																																																												
現2年生	全国比 全て100以上																																																												
[目標]	<p>各教科</p> <p>全国平均+10以上</p> <p>国語</p> <p>「読むこと」全国平均+10 「言語文化に関する事項」全国平均以上</p> <p>数学</p> <p>「図形」「関数」正答率50以上</p>	[目標] <p>NRT各教科 偏差値</p> <p>1年生 すべての教科で50以上 2年生 すべての教科で55以上</p> <p>NRT国語</p> <p>1年生「書くこと」、2年生「話すこと・聞くこと」で全国比100以上</p> <p>NRT社会</p> <p>1年生「地理的分野」で全国比100以上</p> <p>NRT数学</p> <p>1、2年生「数と式」で全国100以上</p> <p>NRT理科</p> <p>1年「粒子」で全国比100以上</p> <p>NRT英語</p> <p>1、2年生「話すこと」で全国比100以上</p> <p>ほっかいどうチャレンジテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学においては伸びしろ層の生徒を20%以下に引き上げる 他教科においては伸びしろ層の生徒0を目指す 	[目標] <ul style="list-style-type: none"> 自分にはよいところがある→3.5以上 家庭学習の習慣化(各学年×10分+10分の定着)→3.5以上 単元指導計画に「自己表現」する場面に適切に位置づけ、繰り返し行う→3.5以上 																																																										
[改善策]	<p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題を通して、単元で学習した知識・技能を働かせて思考させることができた(継続) 対話の場面を設定し、ICT機器を活用して思考を整理して考えたことを伝え合い、生徒同士で質問させる(単元に1回以上) 「単元を貫く問い」で見通しをもたせ、「単元のまとめ」では予想と結論を比較して学習を振り返り、変容を実感させる(単元末) 授業の延長の家庭学習(調べ学習や思考・判断・表現を高める)と知識・技能を定着させる家庭学習(ワーク・ドリルパーク等)の意義をそれぞれ伝え、自分に必要な家庭学習を選択して、取り組ませる <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業では多くの文章に触れ、要約文を書く練習や「対話」を柱とした言語活動を推進するとともにドリルパークを活用する <p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元ごとにテーマを設け、生徒自身で調べ考察する時間を持つ 単元テストで知識のつながりや深まりを確認する記述問題を出題する <p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話の場面で自分の考えたことを伝え合うことを通して学びを深める <p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験で得られた結果を自分で分析し自分の言葉でまとめ、交流する <p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で「話す・聞く・書く」を重視した授業展開を推進する 																																																												
<p>全国学力・学習状況調査、ほっかいどうチャレンジテスト、学習アンケートで学習状況を分析</p>																																																													

検証・改善サイクル

	令和6年度							令和7年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
各種検査	授業改善・つまづき解消 継続							全国学力・学習状況調査	NRT標準学力検査			全国・全道結果公表	個別票配付	
検証・改善	P							D						
	学校改善プラン作成							学習アンケート②						
検証・改善	C							A						
	年度末評価							保護者アンケート						
検証・改善	P							D						
	目標・取組決定							授業改善・指導方法の工夫・ミニ研修						
検証・改善	C							A						
	定着や変容把握							中間評価						
検証・改善	P							D						
	目標・取組決定							授業改善・指導方法の工夫・ミニ研修						
検証・改善	C							A						
	定着や変容把握							授業改善						